

## 編集後記

昨年度は理学部発足10周年を迎え、紀要も特集号を編纂したが、本年度は従来の編集方針を踏襲しました。本号には、総説1編、原著論文4編、教育ノート1編の投稿をいただきました。理学部もティーンエイジャーとなり、これから真価が問われる時を迎えるので、今後大学院生を含めた若い方からの論文投稿を大いに期待します。

これまで通り研究室紹介や教育研究施設の使用状況をはじめとした報告を掲載しました。韓国梨花女子大学、お茶の水女子大学と本学の間で行われている日韓女子大学科学教育フォーラムの第4回の当番校に本学があたり、2003年8月に百年館で開催されましたが、その報告を掲載しました。また、そのときの写真を表紙に使わせていただきました。3大学フォーラムは回を追うごとに活性化し、今回は大学院生が発表、討論に積極的に参加したことは喜ばしいことです。

本号の編集に当たり私の怠惰のため、原稿や校正の依頼などいつもせわしないお願いをしたにもかかわらず、快く原稿の執筆をお引き受けいただき、また迅速な修正、校正をしていただいた皆様方に感謝いたします。期限内に本号を刊行することができたのも、原稿をご執筆いただいた皆様方と、本号の制作に当たり種々ご協力いただいた瑞穂印刷の方々のお陰と御礼申し上げます。

(小尾記)

---

### 日本女子大学紀要 理学部 第12号

紀要委員 小尾欣一・今野良彦

印刷	2004年3月25日
発行	2004年3月31日
発行所	日本女子大学理学部 東京都文京区目白台2丁目8番1号 電話 03-5981-3600 FAX 03-5981-3601
発行責任者	学部長 岡崎 廉治
印刷所	瑞穂印刷株式会社 東京都中野区南台2-16-2 電話 03-5385-2711 FAX 03-5385-2820